

## 地域住宅生産者グループ 宮城県優良住宅協会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
復興住宅「絆の力」	宮城県内一円
グループの特徴とメッセージ	
<p>「宮城県優良住宅協会」は、平成4年に設立されました。今回の東日本大震災を受け、復興住宅の建設にあたり、「地元の地元による地元のための復興住宅建設」を基本方針としました。応急仮設住宅は、地元の実情に疎い大手プレハブメーカーがほとんどを手がけ、多くの課題を残しました。この状況が、復興住宅建設で再びおきないように、また国からの助成金等が、地元の産業復興に結びつくようにしたく思います。地元工務店が地元の実情に合わせ、廉価な復興住宅を建設できる仕組みをつくり、被災された皆様とともに復興事業に取り組んでいくつもりです。そのためにも最も求められるものは「絆の力」です。これを我々の建設する復興住宅の名称にいたしました。</p>	

グループの基本情報	
グループ名称	宮城県優良住宅協会
所在地	宮城県仙台市錦町 1-10-1 0メゾン仙台208号
結成年月	平成4年
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計58社 原木供給 : 2社 製材 : 3社 建材流通 : 3社 プレカット : 3社 設計 : 2社 施工 : 55社 地位質調査・地盤改良 : 1社 太陽光発電 : 2社
代表者名	佐藤 良昭 (㈱気仙沼工務店 代表取締役社長)
主な活動内容等	・平成24年 災害時における被災住宅の応急処理修理に関する協定を、宮城県と締結 ・東日本大震災時には、それぞれの工務店が自社で建設した家の応急修理に奔走しました。

地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000～1,500万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）	
建設戸数*（木造戸建）	500戸
うち地域材活用の住宅	300戸
うち長期優良住宅	100戸
グループとしての 施工実績	20戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	300戸
自由記入欄 （上記以外の実績等）	500万円以上の大～中規模リフォーム工事を100戸程度受注（年間）

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口			
担当者名	佐藤 良昭	メール	miyagi.iedukuri@gmail.com
電話番号	022-797-7138	FAX	022-342-0831
ホームページ	http://miyagi-jyutaku.jp/		
自由記入欄	協会としての専用の事務所も開設いたしました。どうぞ気軽にご連絡、お尋ねをいただければ幸いです。		

## 地域型復興住宅のイメージと特徴

■復興住宅「絆の力」は、「**地元の地元による地元のための住宅建設**」を目指します。

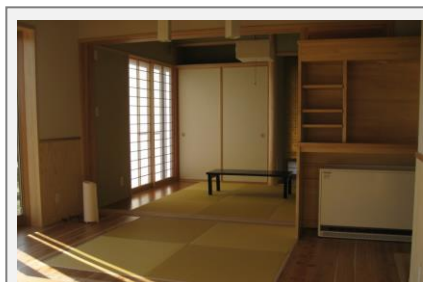
- ①ナショナルブランドのハウスメーカーに負けない上質な住宅を提供いたします。
- ②地域の実情に合わせた災害に強い「安全・安心・快適」住宅づくりを実践いたします。
- ③セルフビルド方式により廉価でライフサイクルの変化にも対応する住宅といたします。
- ④アフターケアの組織化を図り住まいのメンテナンスに対応いたします。

■**地域の実情とお客様のニーズに合わせた住まいづくり**を目指します。

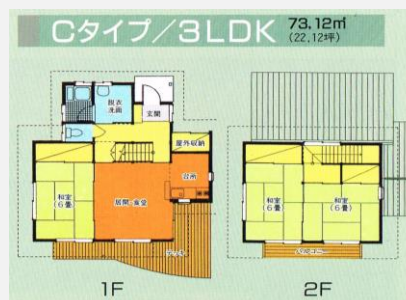
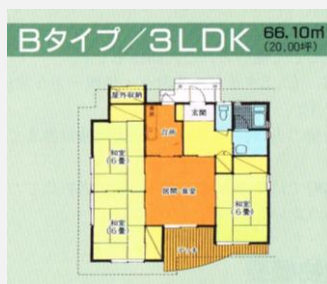
構造に十分な強度を確保するとともに、シックハウス対策として自然素材由来の構造材、仕上材の使用を原則といたします。



T氏邸外観 簡素で美しい佇まい



N氏邸内観 新モダン和風のしつらえ



復興住宅「絆の力」は、高低差のある団地でも豊かな住環境を創出します。



## 代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	Aタイプ 71㎡ Bタイプ 66㎡ Cタイプ 73㎡
設計	一級建築士事務所 株式会社都市リサーチ 設計	施工	「宮城県優良住宅協会」加盟工務店
施工費	1,000~1,200万円 (設計費用は除く)	備考	復興住宅「絆の力」は、宮城県優良住宅協会の標語です

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

■ 在来工法による木のぬくもりと自由な間取りの住まいを提供します。

限られた敷地と建坪にあっても在来工法の良さである自由度の高い間取りと将来の増改築にも対応した豊かな空間を演出します。宮城県産材をはじめ国産材の使用により木のぬくもりを生かした空間を提供します。計画的な建設計画により理想的な伐採や製材を行い、良質な木材を活用します。

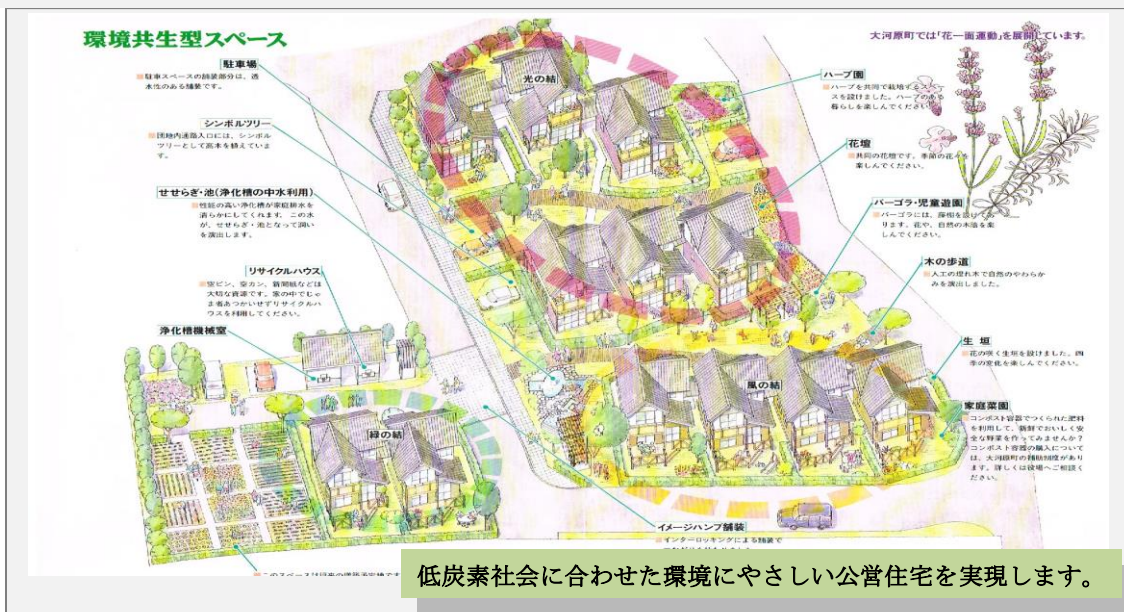
### 主に活用している地域材について

地域材の名称	宮城県産材・東北産材・国産材
樹種	杉、ヒノキ・松
産地	宮城県・岩手県・国内
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では宮城県産および良質な国産材を80%以上活用した住宅を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■ 長期優良住宅の性能を確保した住まいを提供します。

- ・構造躯体の劣化対策等級を「3+α」と致します。
- ・構造躯体等の倒壊等の防止耐震等級を「2以上」と致します。
- ・維持管理・更新の容易性維持管理対策等を級「3」と致します。
- ・省エネルギー対策 省エネルギー対策等級を「4」と致します。
- ・居住環境は、所轄行政庁が審査します。
- ・維持保全管理は10年毎に点検を実施し、地震、台風時は臨時点検をします。
- ・住戸面積は75㎡以上と致します。（詳細はお問い合わせください。）



地域住宅生産者グループ  
宮城優良住宅協会

復興住宅「絆の力」

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

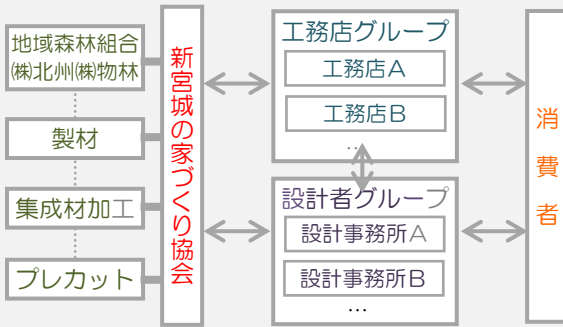
■ **センター機能**を設け「川上から川下まで」一貫した流通システムを確立します。

県内はもとより国内の木材を伐採からプレカット、現場搬入と一環した流通システムで対応します。現在の建材流通の再構築、規格品使用の原則など建材価格の低廉化に努めます。また、地域独特の建築材料の使用も検討します。

計画的な伐採による良質な木材供給の実現



宮城県地域型復興住宅生産・流通ネットワークの体制



プレカット工場での能率的な製材、刻み作業の実施



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 「まち守」の創出

・「桜守」と言う美しい言葉があります。これは、全国の桜の名所を守っている方々のことを言います。かつて、地域の大工さんは、このたとえで言うならば、「まち守」であったと言えます。地域の大工さんは、近所の方に頼まれれば、家の新築はもちろんのこと屋根の修繕や、塀の修理、家の増改築等、「街の修繕や維持管理」をしていたと言えます。これにより、統一的な景観の街並みが維持されてきました。また、町内のお祭りなどの段取りをするのも大工さんや、地域に根ざした大工工務店の役割でした。これを、リタイアした地域の大工さんにこれらの作業を担っていただき「まち守」として活躍していただくように、その組織化を図ります。これは、大工技術の継承、大工職人の将来的な不足、更に高齢社会への対応としても有効なシステムと考えます。

伝統的な上棟式風景



「まち守」によって維持される美しい家並木

